

(7-I) 非鉄金属（アルミ圧延）

17/16 18/17 ◎ 伸び率10%以上 ● 伸び率0~▲10%
: 天気図マーク; ○ 伸び率0~10% ● 伸び率▲10%以下

1. 企業経営動向

(1) 需要

平成17年度の需要について、板類は、自動車部材、電子通信装置、一般機械器具が堅調に推移したが、主力の缶材、フィン材、建設向け等が低調で、また、輸出が大幅に減少したことから、前年度比▲5.0%となった。また、押出類は、自動車部材が好調であったが、過半を占める建設向け、一般機械器具等が低調であったことから、同▲2.9%となった。これにより、板類・押出類の合計では、同▲4.1%と4年ぶりにマイナスとなった。アルミ箔については、主力のコンデンサー向けが年度後半より回復しプラスとなったが、食料品、日用品向けが低調で、輸出の減少等もあり、▲2.8%と3年連続でマイナスとなった。

今後の見通しとしては、板類・押出類においては、自動車向け、一般機械向け等の需要の伸びが予想され、微増となる見込み。一方、アルミ箔については、需要増加が期待できず、微減が見込まれる。

(2) 生産・設備稼働

17年度における生産量について、板類は、猛暑の影響で缶材が好調であったため過去最高を記録した前年度と比べ、▲5.2%となった。また、押出類は前年度比▲2.9%で、過去最高の平成8年度比▲19.9%、アルミ箔においては、前年度比▲2.6%で、過去最高の平成8年度比▲9.3%となった。

(3) 企業収益

アルミ圧延主要企業の経営動向（大手6社連結ベース）（単位：億円）

	平成16年度	平成17年度
売上高	16,576	17,438
営業利益	873	981

平成17年度決算では、主力の缶材需要が好調だった前期と比べて減少したものの、自動車部材向け需要が好調に推移したこと等から、売上高、営業利益とも前年度比増となった。

2. 設備投資動向

アルミ圧延業の設備投資動向（単位：百万円、％）

	16-17共通回答企業		17-18共通回答企業		17/16	18/17
	16年度	17年度	17年度	18年度		
アルミ圧延	14,378	17,847	17,847	19,609	124.1	109.9

(1) これまでの設備投資の推移

17年度は、景気回復に伴い、生産能力増強を目的とした投資を中心に、更新、維持等についても設備投資が行われた。

(2) 平成18年度の設備投資計画

生産能力増強を目的とした投資についてはやや抑制傾向であるものの、引き続き更新、維持・補修への投資や、合理化・省エネ化にも重点を置いた投資を行う計画であり、全体としては投資額の増加が見込まれる。

3. 長期資金調達・運用動向

18年度は、17年度に引き続き売上、営業利益が好調なことから、民間の金融機関への返済が進む見込みである。

（グラフ1：設備投資の前年度比の推移）

